

横浜エフエム放送株式会社

番組審議会報告書

横浜エフエム放送の5月度の番組審議会は、緊急事態宣言の発令もあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による意見提出の形に代えて実施致しました。

出席(レポート参加) 番組審議委員：宝田博士委員長、岡崎三奈副委員長、山口宏委員、品田英雄委員、勝 治雄委員、中村由利子委員、横尾典克委員、長谷川篤司委員

F M ヨ コ ハ マ : 兒玉智彦代表取締役副社長、久富一雄取締役編成部長、藤木奈々編成部員、小林信子編成部マネージャー

議題 かりゆし☆らんど
(毎週日曜日 19:00~19:30)

議事の内容 前回(令和2年2月20日開催)の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの放送がなかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを報告します。

審議の内容 議題の「かりゆし☆らんど」について、概要説明は以下の通りです。

タイトル かりゆし☆らんど
放送時間 毎週日曜日 19:00~19:30
放送形態 録音
出演 柴田 聡/護得久栄昇(最終週) リポーター MAIKO(seven oops)

企画内容 2017年4月よりスタート。「かりゆし」とは、沖縄のウチナーグチの古語で漢字で「嘉例吉」。「嘉例(かり)」=縁起の良い事やめでたい事。「吉」=寄せる。「かりゆし」=「幸運がおとずれますように!」という意味から名付けました。
「かりゆし☆らんど」は、そんなハッピーワンダーランド、沖縄を中心とした日本の南の島々の魅力を発信する番組。島初心者のガイド的存在にもなるよう、毎回ウチナーグチの言葉をテーマにお届けしています。

担当DJ: 柴田 聡

北海道出身。幼少時代から親の仕事の都合で全国各地又、海外で暮らす経験を持つ。その内、第二の故郷と感じてやまない場所が沖縄である。その経験を生かし、横浜と沖縄の架け橋となればと番組でも奮闘中。やるときはやる。本番には強いタイプと自負している。が一番好きな言葉は『テーゲー』(沖縄方言・気楽に)。そんなに焦らず、急がず、自分のペースを大事に、大切に。

○コーナー

★第1週：美らリポ with MAIKO (seven oops)

美らリポ（ちゅらりぽ）は、生まれも育ちも沖縄のアーティスト、seven oops（セブンウップス）のドラム担当 MAIKO が、毎月第1週目にお届けするコーナー。

「島の今、気になる事」を、ウチナンチュならではの視点で、MAIKO が現地からレポートしています。

★最終週：ちんだみ☆ランド／護得久栄昇

「チンダミするよ〜お!」「チャマー!」で大人気!

護得久流民謡研究所 護得久栄昇会長の準レギュラーコーナー。

リスナーからの相談メッセージに護得久流に答えるほか、会長自ら街へ繰り出し、独自の視点で面白おかしく、打ち合わせなしの生の沖縄の様子をお届けしています。

○ 音楽情報

沖縄にまつわるアーティストや民謡など、幅広く音楽を紹介しながら、ゲストもスタジオにお招きしています。

※委員の先生には、1月26日(日)放送のダイジェスト版を事前に聴いていただき、次の感想、意見等をレポート提出していただきました。

<各委員講評>

◎柴田さんが沖縄に対して第二の故郷と感じていることが出ていて、温かみのある番組となっている。大変好感の持てる番組である。

◎番組のネーミングの由来をみて、素晴らしいと思った。

◎流す曲も沖縄に関連するアーティストが多くて良い。

◎週末に FM ヨコハマから柴田さんの声を聴くと安心する。

◎柴田さんの、さわやかで落ち着いたトークがとても良い。

◎FMヨコハマの番組の中で、沖縄に特化したアイデアもいい。柴田さんの声やテンポの良い語り口も好感が持てる。ちんだみ☆ランドのコーナーも面白く、護得久栄昇さんのキャラが最高。レポート時の電話の音質に限界はあると思うが、もう少しクリアになると更に聴きやすくなると思う。

◎柴田さんとリポーター（今回は護得久会長）とのやり取りが特に軽快感がありながら、その中に温かみを感じる。柴田さんが、沖縄を大好きなことも大変よく伝わってくる部分も垣間見え、この番組にピッタリだと思う。また、護得久会長や MAIKO さんとのやり取りは聴き逃したくないと思わせる。

◎時間帯が日曜日の夜なのがもったいない。やはり太陽を感じる時間帯に聴きたい。

◎何より柴田さんの沖縄愛が感じられる語りが良い。土曜担当の「Route847」の時とは、別の面を垣間見られている気がする。実際に住んでいたこともあり、訪れることもあって現地をよく知っている人ゆえの言葉も多く知っている人には『そうそう、そうなんだよ』。知らない人には『そうか、そうなんだ』と感じさせ、いずれにせよ、沖縄シンパを増やしていくのに繋がっていると思う。

◎護得久会長と沖縄の方々との実際のやり取りは、生の沖縄の言葉、イントネーション、雰囲気を実際に感じられる良い機会になっているかと思う。またフランクな関係が見えるやりとりも楽しい。ぜひ今後も、沖縄ローカルの人気者たちを紹介し、その人達の生の声を届け続けて欲しい。

◎観光が一大産業である沖縄の魅力をどう伝えるか…。観光スポット(場所)、食、音楽、焼き物などの文化、さまざまな魅力を、コーナーの内容を変えながらいろいろなやり方で発信してくれていると思う。

◎「護得久栄昇」氏と、柴田聡氏の二人のやり取り自体は、全体的に、調子がよく、自然な感じではほのぼのとした沖縄の音楽のような番組で、好感を持って聴ける。ただ、30分という時間の枠があるので、ちょっと長いとも感じる。もう一曲くらいかかっても良いかを感じる。

◎最終週のレポートコーナー部分は、ものすごく沖縄好きの人はともかく、このやり取りをずっと聴いているのはちょっと辛いかと思う。会長の面白さと番組の魅力が、もっと伝わってくるよう、もう一工夫あってもいいのかもしれない。

◎首都圏で「おきなわ」と聞いて嫌な気持ちになる人はまずいないと思うし、その意味で、横浜で沖縄を思い浮かべる番組という企画はとても良いと感じる。

◎音楽は良いのだが、沖縄の「ゆったりとした雰囲気を楽しめる」という期待とはかなり違う印象を受ける。きりっとして都会的な枠組みにしっかりとした柴田さんの声としゃべりが、非日常ではなく、ほのぼのとした気分が足りないと感じる。
沖縄の風景と匂いが思い浮かべられる放送、沖縄にまた行きたくなる放送を届けて欲しいと思う。

◎番組は、放送を聴くということだけでなく、沖縄を体感したいという気持ちにさせてくれ、FMヨコハマが長年開催している沖縄にちなんだイベントへの集客につながっているのと思う。現在、自由な行き来が難しい状況になっており、この先、どのように観光やイベントが行われていくか不透明の中で、このように現地を身近に感じることが出来る番組は、ラジオが表現できる強みであり、今後も楽しみである。

◎情報は沖縄のメジャー部分もありながら、コアな部分の紹介もあり、次に沖縄に行ったら行ってみたい！と連想されるような内容や語り口調は素晴らしい。そのように感じているリスナーも多いと思う。

◎現地のインタビューが流れることは、今回は首里城なのでイメージ出来る人が多いが、あまり知名度が無い場所でも沖縄の雰囲気を感じることが出来て良いと思う。

以上

審議機関の答申または改善意見に： なし

対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。

を公表した場合におけるその公表

の内容、方法、及びその年月日

①令和2年6月15日、04：55から3分間、当社で
放送予定。

②書面にて自社内に備置き

③令和2年6月15日、当社ホームページに掲載予定。

(<https://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項：

なし

以上